短期予報解説資料　２０２６年１１月２４日１５時４０分発表

気象庁

１．実況上の着目点

① 500hPa 5100m付近で-42℃以下の寒気を伴う寒冷渦が、アムール川中流域を東進。500hPa 5160～5340mのトラフに対応し急速に発達中の低気圧がサハリン付近を北東進。前線が北～東日本を通過中。前線の寒気側の日本海や黄海付近は筋状の雲が明瞭。

② 500hPa 5700m付近のトラフ対応の低気圧が、前線を伴って四国の南を東北東進。東海道沖では雷を伴う激しい雨を解析し、メソサイクロン検出。



主要じょう乱解説図

２．主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項①の急速に発達中の低気圧は、25日にかけてオホーツク海を北東へ進んで寒冷渦の直下に入り、前線は24日夜までに北～東日本を通過する。1項②の低気圧は、今後は後続する500hPa 5580m付近のトラフと対応して急速に発達しながら、24日は伊豆諸島付近を通って関東の東に進み、25日は日本の東からカムチャツカの東に進む。これらの低気圧や前線に向かう下層暖湿気と上層寒気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴う強い雨や激しい雨が降って大雨となる所がある。これまでの大雨で地盤の緩んでいる地域では、普段より少ない雨量でも土砂災害の危険度が高まりやすいことに留意。北陸地方では25日にかけて、土砂災害に注意・警戒。南西諸島では24日は、北～西日本では25日にかけて、落雷、突風、降ひょう、急な強い雨、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。

② 2項①の低気圧や前線の通過後は、西高東低の気圧配置となって下層寒気移流が強まり、25日は寒冷渦の南を東進する上層トラフが南北に連なって北～西日本を通過。このため、雪を伴って強い風や非常に強い風が吹いて波が高くなりしける所がある。北海道地方では25日は暴風に警戒、北陸地方では25日にかけて高波に警戒。北～東日本では25日にかけて強風や風雪に注意・警戒し、全国的に強風や風雪、高波に注意。北～東日本の山沿い中心に25日は大雪による交通障害、着雪、なだれに注意。

③ 26日は、500hPa 5280～5520mで-30℃前後の寒気を伴うトラフに対応し、地上の気圧の谷が北日本付近を通過する。また、500hPa 5820m付近の強風軸対応の前線が南西諸島付近で顕在化する。前線や気圧の谷の影響で、波が高くなりしける所や大気の状態が不安定となる所がある。北日本と南西諸島では26日は、落雷、突風、降ひょうに注意。北～東日本と南西諸島では26日は、強風や高波に注意。

３．数値予報資料解釈上の留意点　総観場はGSMを基本、量的予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

４．防災関連事項［量的予報等］　① 雨量(18時からの24時間)：多い所（100mm以上）はない。

② 降雪量（18時からの24時間）：東北50、北海道40、関東甲信・北陸20cm。

③ 波浪(明日まで)：東北・伊豆諸島・北陸・近畿・中国5、その他広い範囲で3～4m。

５．全般気象解説情報発表の有無　「落雷・突風・降ひょう」を17時頃に発表予定。

---

[1]量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。